

地域交流サロン：いま改めて考える「住みたい都市」

1. 地域交流サロンの趣旨

本サロンは、横浜国立大学地域実践教育研究センターが、横浜や神奈川の地域課題をテーマとして、市民や行政の方、研究者、学生が自由に参加し、「住みたい都市」について議論する場として年に数回開催しているものです。2011 年度は東日本大震災も踏まえ「防災視点の都市・地域づくり」を主なテーマとして、教育・経済・経営・環境・都市など学内の様々な分野の研究者や NPO 関係者から提供される話題をもとに、今後の横浜や神奈川に求められる都市・地域づくりの在り方について、4 回ほど議論を重ねてまいりました。今回開催するサロンはそれらの総括に加えて、横浜国大生が横浜や神奈川で地域課題に 1 年間取り組んだ成果も報告されます。

2. 地域交流サロンの概要

【名称】	地域交流サロン いま改めて考える「住みたい都市」
【主催】	地域実践教育研究センター
【日時】	2012 年 2 月 27 日(月) 15:00~18:20
【内容】	<p>○第 1 部 (15:00-16:30)： 第 1 部は「地域課題実習 成果報告」と題し、本学の学部生や大学院生が 1 年間、横浜や神奈川における地域課題に取り組んだ成果を報告いたします。今年度は、「濱の鉄人」料理人コンテスト」を企画・実施した横浜地産地消推進プロジェクトをはじめ、教員や学生自らが設定した「環境」や「市民支援」、「創造都市」など 14 の課題について、多くの学生がその課題解決に向けて活動を行ってきました。</p> <p>○第 2 部 (16:50-18:20)： 第 2 部では、パネルディスカッション「災害を乗り越える地域づくり」と題して、東日本大震災以降、本学の様々な分野の研究者が共通のテーマに沿って検討してきた防災視点の都市・地域づくりについて報告するとともに、市民や行政関係者も交えてさらに議論を深めたいと思っております。</p> <p>※パネルディスカッションのゲスト： 吉田信雄 氏 (神奈川県立かながわ県民活動サポートセンター・副主幹) 上原美都男 氏 (横浜国立大学安心・安全の科学研究教育センター・客員教授)</p>
【参加方法】	参加費無料。メールまたは FAX にて、お名前とご所属を添えて地域実践教育研究センターまで事前にお申し込みください (当日参加も可能です)。

3. 関連冊子の発行について

第 2 部パネルディスカッションの内容は、本年度の防災視点の都市・地域づくりの研究成果と合わせて、2012 年 3 月末に小冊子「災害を乗り越える地域づくり」として発行を予定しております。入手方法については、後日、当センターのホームページを通じてご案内いたします。

本件に関するお問い合わせ先

横浜国立大学
地域実践教育研究センター 准教授
志村 真紀 (シムラ マキ)
Tel : 045-339-3579 / Fax : 045-339-3579
E-mail : chiki-ct@ynu.ac.jp
Web : http://www.chiki-ct.ynu.ac.jp/

目次（予定）

はじめに

東日本大震災を踏まえた横浜・神奈川における課題点

1. 対応力を育むコミュニティ

- 1 こどもまち探検と地域の防災活動の連携
～保土ヶ谷区和田町における実践的な取り組みを通して～ 岡西靖, 他
- 2 常盤台まちづくり応援団と「老後も住み続けられるまちづくり」 大原一興, 掘田浩平
- 3 横浜国立大学の防災の取り組み [コラム]
- 4 お散歩マップからつながる防災力 松橋圭子, 田中稲子
- 5 付属鎌倉小学校の実践知を育む海洋教育への期待 [コラム]
- 6 復興を足元からプロジェクト 藤岡泰寛
- 7 オレンジフラッグの取り組みとその意義 [コラム]
- 8 地域の範囲とステークホルダー 稲垣景子

2. 災害に強い社会インフラ

- 1 震災復興バス 中村文彦
- 2 災害などに向けた NTT 東日本の取り組み 小畑哲哉
- 3 Resilient な Supply Chain —「agility」と「risk 分散」を巡って— 松井美樹

3. レジリエントなエネルギーシステム

- 1 レジリエントなエネルギーシステムとは 鳴海大典
- 2 災害と自立分散型エネルギーシステム 稲垣景子
- 3 スマート社会とエネルギーの自立 吉田聡
- 4 システム構築に向けた費用負担のあり方 伊集守直
- 5 レジリエントなエネルギーシステムの導入に向けた環境会計システムの構想 大森明
～マテリアルフローコスト会計の適用可能性～
- 6 システム導入に際する評価指標 氏川恵次

4. 空間のシビック活用による地域づくり

- 1 臨海部におけるシビック空間の活用 野原卓
- 2 丘陵地の住宅地における防災視点と地域の持続化 志村真紀
- 3 防災資源としての空間と緑あふれる地域づくり 池島祥文
- 4 建築ストックのシビック活用の意義と課題 江口亨

5. 総括

佐土原聡, 小池治, 高見沢実

*当ブックレットは平成 24 年 3 月末に地域実践教育研究センターから発行予定です。

入手方法は、当センターのホームページを通じてご案内いたします。

*目次内容につきましては変更する場合もございます。